Energia

報 道 資 料

平成18年3月1日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号機定期検査中の炉心増倍率測定試験時の不具合について

島根原子力発電所2号機（沸騰水型，定格電気出力82万キロワット）は，第13回定期検査のため2月28日6時17分に制御棒を全挿入しましたが，その後，試験のため制御棒の一部を引き抜き原子炉の炉心増倍率測定※1を行っていたところ，本日7時53分「IRM（中間領域計装）※2異常高」の信号により，制御棒が自動で全挿入されました。

現在，信号の発生原因を調査中です。

この事象による外部への放射能の影響はありません。

また，ECCS系の作動はありません。

以上

※1 炉心増倍率測定　：炉心設計の妥当性等を確認するために実施するもの

※2 IRM（中間領域計装）　：原子炉の中性子計装の一種。原子炉の起動及び停止時の中性子束レベルを監視するもの

関連リンク

- 原子力発電（環境@エネルギー）